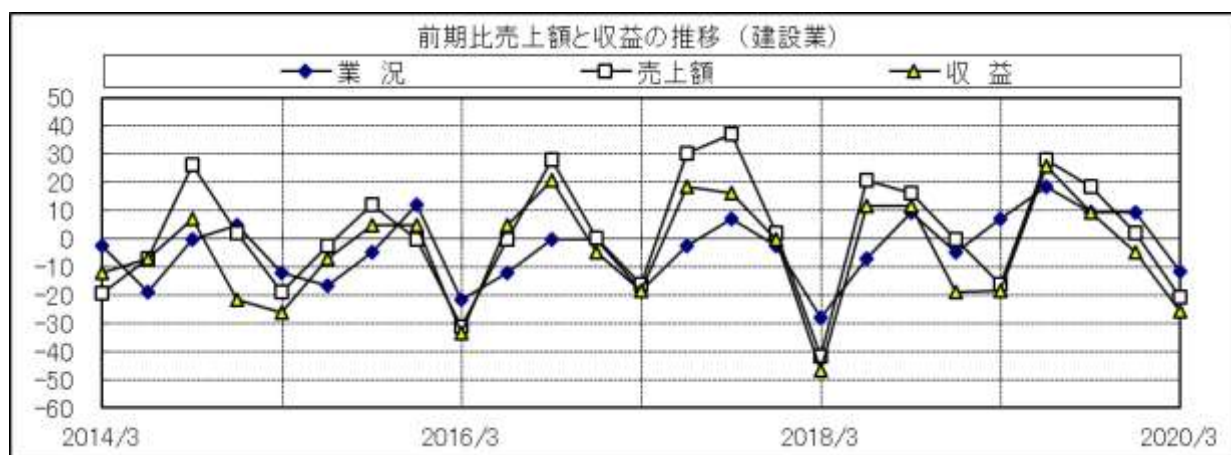


建設業 43 企業（回答率 100.00%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
業 況	9.3	9.3	-11.6	14.0
売上額	18.6	2.3	-20.9	9.4
収 益	9.3	-4.7	-25.5	4.6

今期の業況判断 D. I. は△11.6 で、前期比 20.9 ポイント下降、前年(7.0)比では 18.6 ポイント下降した。地区別 D. I. の水準は高い順に、浦河が最も高く、えりも、広尾、静内、様似と続き、三石が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は、△20.9 で、前期比 23.2 ポイント下降した。収益判断 D. I. は△25.5 で、前期比 20.8 ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
請負価格	4.5	9.3	-2.3	2.3
仕入価格	39.5	37.3	30.2	34.9

請負価格判断 D. I. は△2.3 で、前期比 11.6 ポイント下降、前年(4.7)比 7.0 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は 30.2 で、前期比 7.1 ポイント下降、前年(27.9)比 2.3 ポイントの上昇となった。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
残業時間	9.3	2.3	4.6	-11.6
人手状況	-37.2	-30.3	-16.3	-20.9

残業時間判断 D. I. は 4.6 と前期比 2.3 ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△16.3 と、前期比 14.0 ポイント下降し、人手不足感が強まった。

□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示す D. I. は 4.6 で、前期 (0.0) 比 4.6 ポイント上昇した。

設備投資実施企業割合は 14.0 で、前期 (16.3) 比 2.3 ポイント下降した。設備投資は、前期 7 社に対し、6 社の実施となった。来期の設備投資は、2 社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」・「同業者競争」が 15.4% で最も多く、次に「人手不足」14.4%、「利幅縮小」13.5%、「材料価格上昇」12.5%、「下請確保難」・「人件費増加」が 6.7%、「大手企業競争」3.8%、「地場産業衰退」2.9% となっている。

重点経営施策では、「経費節減」62.8% が最も多く、次に「人材確保」37.2%、「技術力強化」32.6%、「情報力強化」25.6%、「販路拡大」23.3%、「労働条件改善」9.3% となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断 D. I. は 14.0 と、今期比 25.6 ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断 D. I. は 9.4 と、今期比 30.3 ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断 D. I. は 4.6 と、今期比 30.1 ポイントの上昇を見通している。

予想請負価格判断 D. I. は 2.3 と、今期比 4.6 ポイントの上昇を見通している。

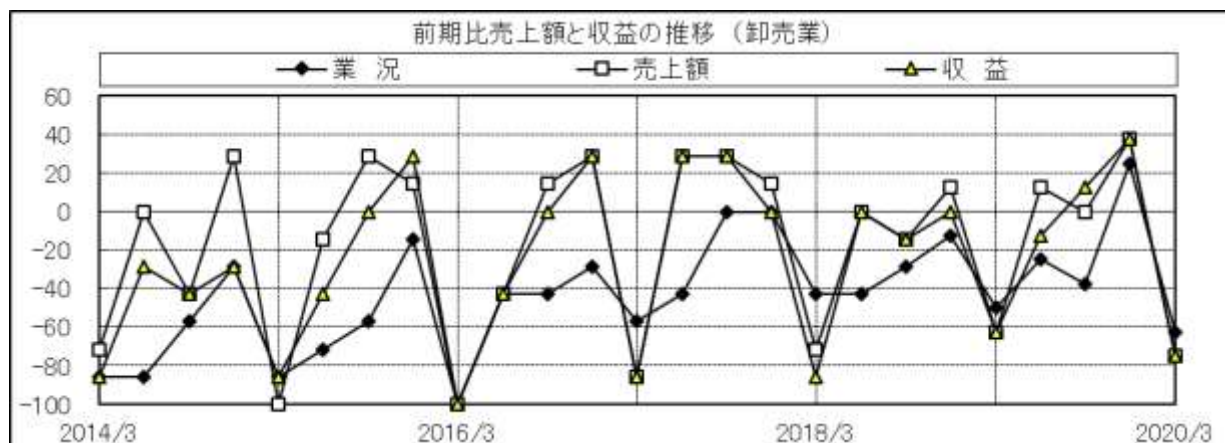
予想仕入価格判断 D. I. は 34.9 と、今期比 4.7 ポイントの上昇を見通している。

卸 売 業 8 企 業 (回答率 100.0%) の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
業 況	-37.5	25.0	-62.5	-25.0
売上額	0.0	37.5	-75.0	25.0
収 益	12.5	37.5	-75.0	25.0

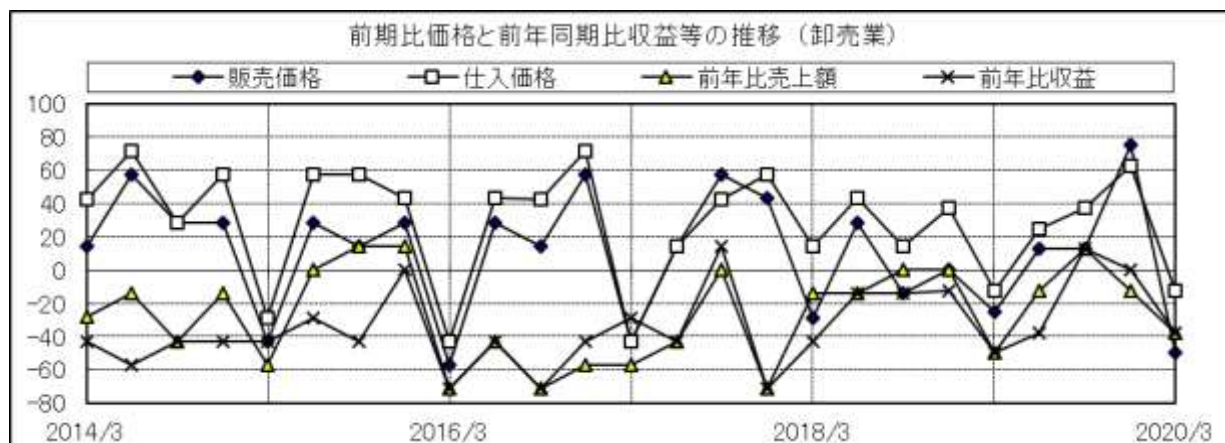
今期の業況判断 D. I. は△62.5 で、前期比 87.5 ポイント下降、前年(△50.0)比 12.5 ポイント下降した。地区別の水準は、浦河・静内・様似すべての地区が下降した。売上額判断 D. I. は△75.0 で、前期比 112.5 ポイント下降。収益判断 D. I. は△75.0 で、前期比 112.5 ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
販売価格	12.5	75.0	-50.0	50.0
仕入価格	37.5	62.5	-12.5	50.0

販売価格判断 D. I. は△50.0 で、前期比 125.0 ポイント下降、前年(△25.0)比 25.0 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は△12.5 で、前期比 75.0 ポイント下降、前年(△12.5)と同水準となった。業種別では、水産業、食品業の販売・仕入価格はともに下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
残業時間	0.0	0.0	0.0	0.0
人手状況	-12.5	-37.5	12.5	-12.5

残業時間判断 D. I. は 0.0 で、前期と同水準となり、残業時間に変化はなかった。

人手過不足判断 D. I. は 12.5 で前期比 50.0 ポイント上昇し、人手不足感は大幅に弱まった。

□ 設備投資の動き

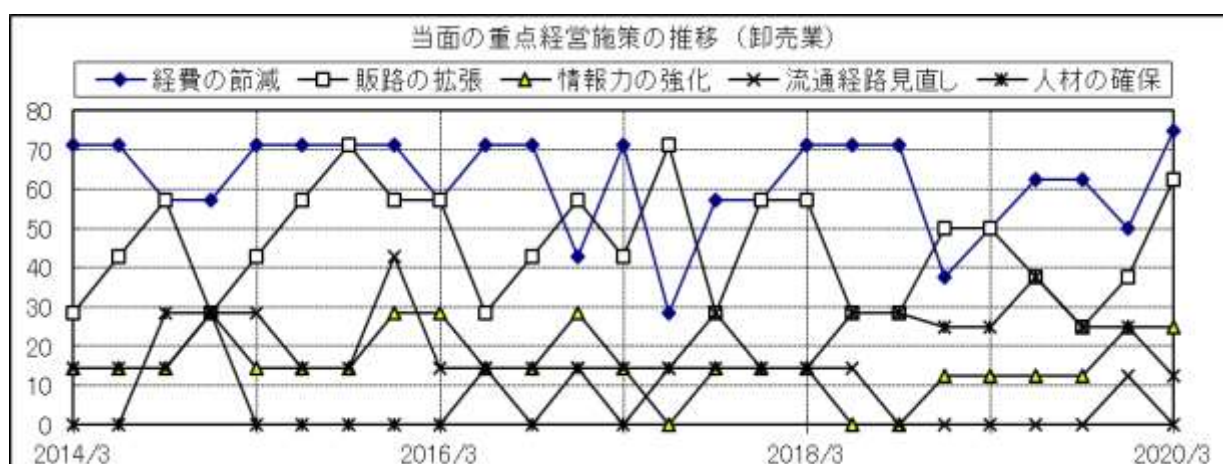
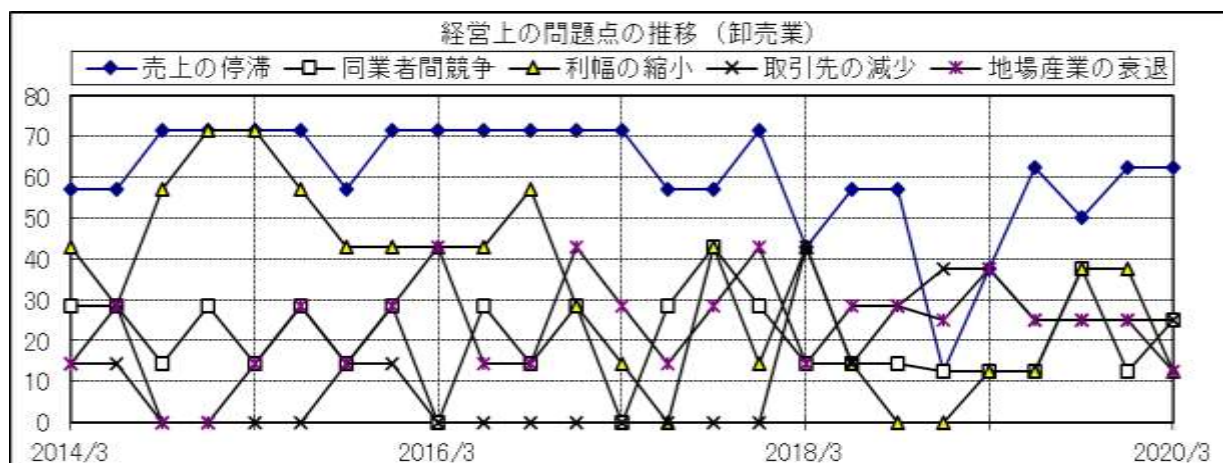
設備投資の充足感を示すD. I. は0.0で、前期(△25.0)比25.0ポイント上昇した。

設備実施企業割合は0.0で、前期(25.0)比25.0ポイント下降した。設備投資は、前期2社に対し、実施企業はゼロ。来期の設備投資予定はゼロとなっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が62.5%と最も多く、次に「同業者競合」・「値上げ要請」・「取引先減少」・「店舗老朽化」・「天候不順」が25.0%、「輸入製品競合」・「利幅縮小」・「取扱い商品陳腐化」・「地場産業衰退」・「為替レート変動」が12.5%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が75.0%と最も多く、「販路拡大」62.5%、「情報力強化」25.0%、「品揃えの充実」・「人材確保」・「取引先支援」が12.5%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△25.0と、今期比37.5ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は25.0と、今期比100.0ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は25.0と、今期比100.0ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D. I. は50.0と、今期比100.0ポイントの上昇を見通している。

予想仕入価格判断D. I. は50.0と、今期比62.5ポイントの上昇を見通している。